

小児在宅ケア研究会会報 第1号

平成18年9月4日

【第2回小児在宅ケア研究会のご報告】

平成18年6月25日に、第2回小児在宅ケア研究会が名古屋大学 東山キャンパスで開催されました。今回は、日本小児看護学会からの支援をいただき中部地方会として開催し、161名のご参加をいただきました。小児在宅ケアに関する病院側の意識に関する実態調査の報告、養護学校や訪問看護ステーションにおける小児在宅ケア支援の報告、事例検討、社会資源に関する概説などで大変多彩な内容となりました。また、名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター教授の本城秀次先生によるご講演「妊娠産褥期のメンタルヘルス」では、妊娠期から産褥期までの女性の精神的な健康状態について解説いただきました。この時期に子どもの病気や障害という問題に直面する母親がどれほど大きな負担を抱えているのか、改めて考える機会となりました。

当日は、研究会に参加された方を対象に研究会の内容に関するアンケート調査を行い、161名中111名の方から回答をいただきました。参加者の内訳などから、訪問看護領域での小児在宅ケアに対する関心の高まりがうかがえます。研究会の内容について肯定的な回答が多く、自由記載欄では、養護学校や訪問看護ステーションでの活動報告など、普段聞くことのできない話が聞けて、連携の重要性を実感した、というご意見などがありました。詳しくはプログラムとアンケート調査の集計結果をご参照ください。

【第2回小児在宅ケア研究会総会のご報告】

第2回小児在宅ケア研究会総会が、同じく6月25日に開催されました。総会では、平成17年度活動報告の後、平成17年度決算・会計監査について報告が行われ、いずれも承認されました。また、平成18年度活動計画(案)、並びに予算(案)について承認されました。今年度の主な活動として、第3期小児在宅ケアコーディネーター研修会が3回シリーズで開催されること、会員に対して総会報告を新たに行うことなどが含まれました。詳しくは総会議事録、総会資料1～5をご参照ください。